

2010年9月1日

高感度、広検出範囲のジャイロセンサ「XV-3700CB」を量産開始

エプソントヨコム株式会社(社長: 矢島 虎雄)は、このたび、モーション UI の入力デバイスとして最適な高感度、広検出範囲のジャイロセンサ「XV-3700CB」を商品化し、量産を開始いたしました。

人やモノの動作をより正確にセンシングするには、低速から高速までの角速度をより広い範囲で検出する必要がありますが、一般的なジャイロセンサにおいては、検出範囲の広さと安定度・ノイズ特性の両立が課題となっておりました。

「XV-3700CB」は、既存商品「XV-3500CB」の低ノイズレベルと高ゼロ点安定性を継承するとともに、公称感度が $0.8 \text{ mV}/(^{\circ} \cdot \text{s}^{-1})$ の高速モード(検出範囲: $\pm 1500 \text{ deg/s}$)と $3.624 \text{ mV}/(^{\circ} \cdot \text{s}^{-1})$ の低速モード(検出範囲: $\pm 300 \text{ deg/s}$)の2つのモードを同時に出力することで、広い動作範囲を高精度に検出することが可能です。

これにより、人間の行動、運動解析や RC ヘリコプター等の姿勢制御を正確に検出するモーション UI の入力デバイスとして、各種コントローラや3D マウス等、モーションセンシング用途を目的とした機器の性能向上に貢献いたします。

なお、10月5日(火)～10月9日(土)に幕張メッセにて開催されます『CEATEC JAPAN 2010』展示会場のエプソントヨコムブース(ブース No. 6E29)にて、本製品を含む水晶デバイスの展示を行います。

【本製品の特長】

- 1) 低速モード/高速モードを1パッケージでセンシング可能
- 2) 当社アナログ回路技術により2信号同時出力に対応
- 3) XV-3500CB の性能を継承した低ノイズレベルを実現
- 4) QMEMS^(*)技術による高精度ジャイロ素子の採用で、高ゼロ点安定性を実現

【主な仕様】

Item	Unit	Specifications	Condition
		Typ.	
Supply voltage	V	2.7 ~ 3.3	
Operating temperature	°C	-20 ~ +80	
Scale factor	Output 1	0.8	
	Output 2	3.624	
Rate range	Output 1	+/-1500	
	Output 2	+/-300	
Scale factor tolerance	%	+/-8	Ta=25°C
Scale factor variation with temp.	%	+/-5	VDD=3.0V Ta=25°C Based
Bias output	mV	1500	Ta=25°C
Bias variation with temp.	Output 1	+/-50	VDD=3.0V Ta=25°C Based
	Output 2	+/-100	VDD=3.0V Ta=25°C Based
Reference voltage	mV	1500	Ta=25°C
Size	mm	5.0 x 3.2 x t1.3	

【用語説明】

(*1) QMEMS

高安定・高精度などの優れた特性を持つ水晶素材である「QUARTZ」と、「MEMS」(微細加工技術)を組み合わせた造語です。半導体を素材としたMEMSにならって、水晶素材をベースに精密微細加工を施し、小型・高性能を提供する水晶デバイスを「QMEMS」と呼んでいます。「QMEMS」は、エプソントヨコムの登録商標です。

本件のお問い合わせについては下記にお願いいたします。

<報道関係>

事業管理部 広報担当 TEL : 042-581-1701
FAX : 042-581-1722

<お客様>

プロダクトマーケティング部 TEL : 042-587-5878
FAX : 042-587-5564

ホームページ : <http://www.epsontoyocom.co.jp/>